

「オテロ」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前には作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

2002/2003 SEASON **オテロ** (2003.6)

「オテロ」演出のひとつの典型として高い評価を受けている、モシンスキー演出、87年英国ロイヤルオペラ初演のプロダクション。

参考図書

<対訳>

ヴェルディ オテロ (名作オペラブックス 17)

アツティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1988年発行

『オテロ』の対訳から、『オテロ』作曲の経緯、初演時と其後の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

対訳 オテツロ (Otello Musica di Giuseppe Verdi)

河原廣之＝編集・校閲・注釈／オペラ読本出版 2002年発行

著者はスカラ座やフィレンツェ歌劇場日本公演の主任通訳を務め、二期会、オーチャードホールなど全国の主要歌劇場でイタリア語ディクシオンの指導、演出にかかわる傍ら、40冊を超えるオペラ対訳書を出版している。

オテツロ (イタリアオペラ対訳双書 35)

とよしま洋＝訳／アウラ・マーニャ イタリアオペラ出版 2002年発行

オテツロ (イタリアオペラ・歌曲歌詞解説シリーズ 41)

飛嶋克弘、かわはら洋、河原廣之＝訳／アウラ・マーニャ イタリアオペラ出版 1990年発行

ヴェルディ 椿姫／アイダ／オテロ (対訳オペラ全集 7) 平凡社 1959年発行

<作品解説>

ヴェルディのオペラ 全作品の魅力を探る 永竹由幸＝著／音楽之友社 2002年発行

ヴェルディの個々のオペラについて、作曲の経緯、原作と歴史的背景から音楽分析まで行っているユニークな解説書。

ヴェルディ／ブッチーニ(作曲家別名曲解説ライブラリー) 音楽之友社＝編／音楽之友社 1995年発行

NHK 知るを楽しむ この人この世界 オペラ偏愛主義 島田雅彦＝著／日本放送出版協会 2008年発行

NHK 教育テレビで放送した番組のテキスト。「忠臣蔵」「Jr・バタフライ」と自らオペラ台本を手掛けるほどの大のオペラ通の作家・島田雅彦がオペラの魅力を徹底的に語る。第5回で「オテロ」の悪役イアーゴを取り上げている。

恋するヒロイン オペラにみる愛のかたち 中野京子＝著／株式会社ショパン 2005年発行

愛に生きたひとりの女性として、いまよみがえるオペラのヒロインたち。「第四章 すれ違う思い」で『オテロ』デズデモナを取り上げている。

わたしのヴェルディ 16人のアーティストが語る 12の傑作オペラ

レオネッタ・ベンティヴォリオ＝編著／白崎容子＝訳／音楽之友社 2001年発行

『オテロ』については演出家ペーター・シュタインが語っている。

ドラマとしてのオペラー名作オペラを検証する

ジョーゼフ・カーマン＝著／三浦淳史＝監修／南條竹則、辻昌宏、鈴木圭子＝訳／音楽之友社 1994年発行
6章で『オテロ』を取り扱っている。

Otello VERDI 出版:L' Avant-Scène OPÉRA 仏語 2004年発行

古今のオペラを1作ずつ取り上げて解説するシリーズ刊行物。

Otello Giuseppe Verdi 出版:Cambridge University Press 英語 1987年発行

<作曲家関連>

評伝 ヴェルディ(第I部、第II部) ジュゼッペ・タロツツィ／小畑恒夫＝訳／草思社 1992年発行

自分だけ信じ、自己の内面の矛盾をバネに作曲しつづけたヴェルディ。第II部では〈アイダ〉〈レクイエム〉〈オテロ〉〈ファルスタッフ〉を生んだ後半生を描く。特異な性格の謎を解く。

ヴェルディ 書簡による自伝

アルド・オーベルドルフェル＝編著／マルチェロ・コナーティ＝校閲／松本保子＝訳／カワイ出版 2001年発行
イタリア・オペラの巨匠ヴェルディは筋金入りの「伝記嫌い」であった。唯一、膨大な「書簡」のみが真情を語る。イタリアの歴史的な名著本邦初出版。

ヴェルディへの旅 写真とエッセイでたどる巨匠の生涯

木之下晃・永竹由幸＝著／実業之日本社 2006年発行

世界的に活躍する音楽写真家と、オペラ研究の第一人者が、イタリアオペラ最大の巨匠・ヴェルディゆかりの地とその人間像を徹底取材でまとめた、音楽ファン必読の一冊。

黄金の翼＝ジュゼッペ・ヴェルディ 加藤浩子＝著／東京書籍 2002年発行

第二十五章に『オテロ』作曲にかかる経緯の記述あり。

二百年の師弟 ヴェルディとシェイクスピア 福尾芳昭＝著／音楽之友社 1999年発行

イギリス文学を専門とし、オペラを愛好する著者が、オペラに大きく貢献した文学者であるシェイクスピアと、彼を芸術の父と仰ぎ、彼に親愛の情と畏敬の念を捧げたオペラ作曲家・ヴェルディを結びつけた考察を行う。

ヴェルディ 太陽のアリア(作曲家の物語シリーズ) ひのまどか＝著／リブリオ出版 1989年発行

児童書では初めての音楽家による丁寧な現地取材と豊富なデータにより、偉人としてではなく一人の人間として、喜びや苦悩の中でどのように素晴らしい音楽を作りあげたか、あます所なく描く。小学校上級以上向。

ヴェルディとワーグナー 音楽とドラマのかなたへ 荒井秀直＝著／東京書籍 1994年発行

ヴェルディ(作曲家◎人と作品シリーズ) 小畑恒夫＝著／音楽之友社 2004年発行

ヴェルディ(<大作曲家>シリーズ) ハンス・キューナー＝著／岩下久美子＝訳／音楽之友社 1994年発行

Maestro Verdi 出版:L' Avant-Scène OPÉRA 仏語 2001年発行

古今のオペラを1作ずつ取り上げて解説するシリーズ刊行物。創刊25周年記念第200号としてヴェルディを特集。

Sorgete! Ombre serena! -L'Aspetto visivo dello spettacolo verdiano

出版:Istituto Nazionale di Studi Verdiani 伊語 1996年発行

パルマで開催された展覧会の図録。ヴェルディのオペラ「ドン・カルロ」「運命の力」「リゴレット」「アイダ」「オテロ」「ファルスタッフ」「トロヴァトーレ」などの装置デザイン画、舞台写真等を収録。表題は「ファルスタッフ」第三部第二場のナンネッタのせりふ「現れよ！晴れやかな妖精たち！」から取っている。

<原作>

シェイクスピア全集 オセロー 松岡和子＝訳／ちくま文庫 2006年発行

シェイクスピア四大悲劇の傑作を待望の新訳で。

対訳・注解 研究社シェイクスピア選集 オセロー 大場健治＝訳／研究社 2008年発行
左頁に原文、対応する右頁で日本語訳を楽しむ全10巻のシェイクスピア名作シリーズ。各頁下段に脚注つき。

大修館シェイクスピア双書 オセロー 笹山隆＝編注／大修館 1989年発行
シェイクスピアの魅力を原文で楽しむシリーズ。見開き2頁に原文と詳細な注を取めた。

シェイクスピア全集(全5巻) 小田島雄志＝訳／白水社 1986年発行
第IV巻に「オセロー」ほか6作品を収録。

シェイクスピア全集7ー悲劇II 筑摩書房 1972年発行 「オセロー」(木下順二＝訳)ほか3作品を収録。

シェイクスピア全集11 オセロー 福田恆存＝訳／新潮社 1960年発行

公演記録映像

オテロ (2003.6.10) 【字幕入り】

オテロ:クリスチャン・ヨハンソン、デズデーモナ:ルチア・マッツァリアーア、イアーゴ:ホアン・ポンス

オテロ (2003.6.12) 【字幕なし】

オテロ:ウラディーミル・ボガチョフ、デズデーモナ:ルチア・マッツァリアーア、イアーゴ:ホアン・ポンス

オテロ (2003.6.14) 【字幕なし】

オテロ:クリスチャン・ヨハンソン、デズデーモナ:出口正子、イアーゴ:直野資

DVD

オテロ (’72～’73 ミュンヘン ザルツブルク)

オテロ:ジョン・ヴィッカーズ、デズデーモナ:ミレッラ・フレニ、ヤーゴ:ピーター・グロソツプ

オテロ(映画版) (’86 伊・オランダ合作)

オテロ:ブラシド・ドミンゴ、デズデーモナ:カーティア・リッチャレッツリ、ヤーゴ:フスティノ・ディアス

オテロ (モノクロ映像 ’59 宝塚劇場)

オテロ:マリオ・デル・モナコ、デズデーモナ:ガブリエルラ・トゥッチ、ヤーゴ:テイト・ゴツピ